



シルバーだより

No. 310

平成 28 年 4 月 1 日

荒川シルバー大学

荒川区荒川 3-49-1

理事長 岡田 芳子

TEL 3801-5740

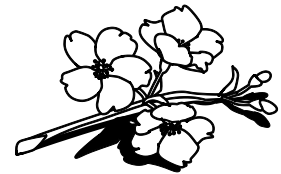
FAX 3801-5691

平成 28 年度の出発にあたって — 心も体も元気であり続けるために —

理事長 岡田 芳子

平成 28 年度が始まりました。昭和 59 年、初代水越理事長が創立した荒川シルバー大学は、33 周年となり歴史を重ね 900 名近い学生と講師でつくりあげています。

平成 27 年度の閉講式が 3 月 18 日に行われました。規約の改正により、卒業年数が 5 年となったため卒業生はおりません。3 月号でもふれられておりましたように、10 年間在籍者への奨励賞に加え、20 余年の在籍者に学長賞を、そして、30 余年在籍者には理事長賞を表彰致しました。その後、ホテルラングウッドにおいて、学生・講師による年度末交歓会を行いました。共に学ぶことの大切さ、共に生きることの喜び、“共に”そこに友がいる、そこに師がいる。自由な時間を共有し、元気な荒川区民でいることの幸せを感じた交歓会でした。



さて、平成 28 年 4 月 1 日付で新学長に木村國子先生が就任致しました。ご存知のように木村先生は、前副学長であり、「英語教室」の講師をしております。今年度からは学長としても、力量を発揮して頂きます。どうぞよろしくお願い致します。

そして、前学長望月公子先生には、副理事長として、さらに学長代行も務めていただき、引き続き「今と昔の町歩き教室」と「健康体操教室」の講師としてもご活躍頂きます。多様な役目ですが、望月先生の好奇心とアイデアと明るさが、学校全体を前向きにして下さいます。どうぞよろしくお願い致します。

春は出会いと別れの季節です。27 年度末で元学長でもあり「自然と小さな旅教室」講師の稲川君江先生がご勇退されました。自然の変化を楽しみ、健康の大切さを教えて下さいました。また、「水墨画教室」講師の結城天鼓先生もご勇退されました。墨だけで一筆の中に心の動きを表現する奥深さを教えて下さいました。ありがとうございました。今後も応援をお願い致します。

超高齢社会となった今、前向きでいればきっといいことに巡り合えると思います。友に師に会いに行きましょう。

《 平成 28 年度の募集を終えて 》

今年度の荒川シルバー大学の学生募集も、多くの方々のご協力で無事に終了しました。

その結果は、応募者総数が 898 名（内、新入生 108 名）、延べ人数では 1,372 名となりました。そこで私は、荒川区の人口ってどの位あるのかと思い、区役所に電話をして聞きましたら、今年の 2 月 1 日現在で、昨年より 2,302 人多い、総人口 211,889 人（男性 105,948 人、女性 105,941 人）との事。年齢別の割合も教えてくれましたので、60 歳以上の人を計算したところ、32,678 人でした。ですから 60 歳以上の方の、38.6 人に 1 人がシルバー大学の学生という事になります。

私もその中の一人として、11 年目になります。脳も筋肉と一緒に使わないと益々衰えるそうですから、今年は、やる気・根気・負けん気で再挑戦しますので、先生方のご指導、ご鞭撻の程、宜しくお願い申し上げます。

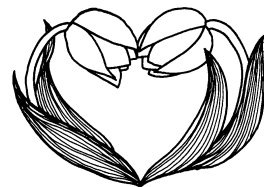
去る 3 月 8 日に、副理事長の宮澤健一さんが亡くなられました。
ご冥福をお祈り申し上げます。 合掌 （ 副事務局長 山口 俊幸 ）

《 東日本大震災を振り返って 》

（3 月号よりの続き）

3 月 15 日の朝になって、今度はもっと西へ行かないとだめだということでした。町の職員がこの時初めてはっきり話したのが、原発の大事故のために放射能に汚染されたために少しでも遠くに避難しなければならないのだ、という説明でした。中通り地方の二本松市の針道小学校の廃校になった体育館でしたから、暖房もなく又、あいにく夕方から雪になり床に段ボールを敷き毛布一枚で震えながら一夜を過ごしました。

5 日も過ぎてますから携帯の充電もなく繋がらなかったのですが、突然東京にいる息子から、16 日の朝迎えに行くと言が入り、何かこの時だけ繋がったのですね。神様が繋げてくれたのだと飛び上がる程嬉しく思いました。



私達は息子のお陰で一晩で体育館を後にしましたが、後で聞くとところによると他の方達は、その体育館に 1 か月も居たと聞き、大変な苦労があったと思います。私達には息子三人と私の兄弟三人東京に居りますから、転々と泊り歩いている間に次男の嫁がインターネットで募集を知り、都庁に申し込んだところ、町屋の都営アパートが抽選で当たり、23 年 4 月 1 日から約 5 年近くお世話になりました。

当初、私達田舎者が大都会に出てきての生活なんてどんなものか不安でいっぱいでしたが、社協の皆様、ボランティアの皆様、そして町屋の皆様の温かいもてなし、また多大なる支援物資を何度も何度も頂き感謝感謝です。途方に暮れていた私達に元気を与えてくれた皆様方に心からお礼を申し上げます。

私達の区域は、平成 29 年 3 月帰宅解除準備区域となっておりますので、解除になることは間違いありません。でも帰宅しても生活は別なんです。お医者さんや買い物等々、高齢者にとってはなおのこと、そこで総合的に判断して息子達とも相談し、苦渋の選択ではありますけれど、住み馴れた町屋に最後の住家を求め、1月10日引っ越しました。東京都民というよりは、荒川区民として、残りの人生を前向きに生きて行きたいと思っておりますので、どうぞ、私達田舎者を今後共よろしくお願い致します。

(福島県浪江町より避難 平成 28 年 2 月 15 日記 34 班 安部 世利子)

平成 27 年度 各受賞者名 (敬称略)



●理事長賞 (在学 30 余年) 4 名

苅部きよの 兼杉つぎ子 牧子婦美子 後藤八重子

●学長賞 (在学 20 余年) 35 名

白鳥登美子	大久保静江	山岸知子	小坂井康子	辻きよ
畠山英子	高橋ふさ子	海老原喜代子	加藤トミ	伊藤慶子
佐久間功子	伊東千代子	椎根八重子	小林宗子	川岸利雄
落合静子	豊田マス	佐藤恒子	関口久子	小宮よう子
大塚とき子	鈴木ふみ	奥出信子	布施博子	川村和子
有賀八重子	中川シズエ	菅原房子	金子幸枝	山本菊枝
篠沢欣子	瀧澤百合子	荒瀬嘉子	石塚美江子	伊藤美代子

●奨励賞 (在学 10 年) 33 名

山口俊章	藤田静江	柴崎和子	金光花子	斉藤昭子
井口和子	山本喜一	高橋トシ子	白澤英子	和地みちよ
小倉智恵子	志村初枝	若井二三子	酒井倫夫	高山修
中野俱子	伊藤弘子	佐藤康子	松崎マリ子	西村悦
小林潤也	松本光章	森秀太郎	渡辺テル子	大和田晴子
荒牧ミドリ	安西昌子	水戸部レエ子	今井智枝子	遠藤静子
篠崎節江	三浦勇伯	高木せつ子		

●感謝状 4 名

結城天鼓 (前水墨画教室講師) 稲川君江 (前自然と小さな旅教室講師)
山岸知子 (前東日暮里地区長) 藤原 晃 (前荒川地区長)

4月の行事予定



15日（金）	平成28年度 開講・入学式	
一部	1. 開式のことば 1. 敬礼 1. 理事長挨拶 1. 学長式辞 1. 来賓祝辞・紹介 1. 新入生紹介	1. 新入生誓いの言葉 1. 校歌斉唱 1. 閉式のことば 1. 敬礼 二部 1. 講師の紹介・挨拶 1. 班編成と役員紹介 1. 新入生写真撮影
会場：サンパール荒川 1階 大ホール 開式：午後2時		

◆◆◆◆◆ 学 園 日 誌 〈3月〉 ◆◆◆◆◆

- | | |
|---|---|
| 2日 役員会(募集申込み状況、閉講式について他)
4日 ムーブ町屋閉講式打合せ
14日 講師会
14日 国旗・校旗・徽章・式次第 横断幕準備確認
16日 奨励賞・学長賞・理事長賞式 出欠確認(地区・班) | 18日 平成27年度閉講式
第23回奨励賞受賞者35名
第1回学長賞受賞者33名
第1回理事長賞受賞者4名
22日 広報委員会
29日 28年度「学校案内」印刷
30日 四役他会議
30日 シルバーだより310号作成 |
|---|---|

※ 事務局だより ※

- ① 役員会：4月6日（水）の配付書類・・・「学校案内」・「開講・入学式のご案内」・「ファイル」・「保存袋」・「シルバーだより4月号」（規約・名簿は5月配付）
- ② 開講・入学式：4月15日（金）の持ち物
1. 「学校案内」・・・式典には必携・校歌斉唱に要す
 2. 「開講・入学式のご案内」・・・新入生（桜色）・在校生（白色）ハガキ大
- 受講生の皆様へ：大切なお知らせは毎月この誌面に掲載致します。お見逃しなく！
- （事務所） TEL 03-3801-5740 FAX 03-3801-5691
- （ホームページアドレス） <http://www.arakawa-silver.com/> 室長 田原